

# 特別活動の研究

## 1 特別活動で目指す子ども

互いの思いやよさを認め合い、話し合っ  
て集団や自己の生活上の課題を解決する子ども

特別活動では、よりよい集団や社会の形成者としての「見方・考え方」を働かせて、右表のような資質・能力を育成することが求められている。

資質・能力を育成するには、まず、子どもが目標と実態とを関係付け、その違いに気付くことが大切である。集団や自己の目標と実態との違いに気付くことで、生活上の課題が生まれるからである。課題は、一人で解決することはできない。なぜなら、一方的に意見を押し付けるだけでは解決につながらなかつたり、一人では気付くことができないことがあつたりするからである。そのため、互いの思いやよさを認め合いながら、友達とよりよく話し合う必要性が生まれる。よりよく話し合う中で、子どもは互いの意見の違いを認めて合意形成を図つたり、話し合っ  
て決めたことに取り組んだりして、資質・能力を発揮していく。

このように課題を生み、解決していく姿が、当校で目指す姿である。

## 2 豊かに考える子どもを育む授業づくり

### ○ 第1学年

他者の思いに共感して話し合い、見  
いだしたことを大切にして遊びを楽しむ子ども

八子は、話し合っ  
て決めたことを大切にして活動する子どもを目指す。

まず、遊んで楽しくなかつた人がいたことから集団の課題に気付かせ、みんな

がもっと楽しんで遊べるようになるための解決策を問う。子どもは、他者の思いに共感し、楽しくなかつた人も楽しめ  
るような解決策を考える。

次に、解決策の有効性について話し合  
わせ、解決策を試させてから、どちらの解決策を取り入れるか話し合わせる。子どもは、試す前に解決策のそれぞれの有効性を明確にし、話し合っ  
て見いだした解決策の有効性と遊びとをつなげて考える。そして、課題を解決でき  
るような解決策を決める。

最後に、決めた解決策を取り入れて実  
際に遊ぶミニ集会を設定し、その後実践全体を振り返らせる。子どもは、話し合  
った解決策を取り入れて楽しんで遊び、様々な資質・能力を発揮したことを自覚  
する。

### ○ 第5学年

自分の食習慣と望ましい食習慣とを比較し、課題を設定し、よりよい食習慣への取組に向かう子ども

五十嵐は、よりよい食習慣を形成する子どもを目指す。

まず、望ましい食習慣が内包された資料を提示する。子どもは、資料と自分の食習慣とを比較し、それを実現するために必要な取組を考える。

次に、より自分にあつた解決方法を見  
いださせるために、他者との交流の場を設定する。子どもは、交流により取組が様々なものであることに気付く。そして、それぞれの取組を聞き合うことで、新たな考えを見いだしたり、自分の意見を深めたりする。

そして、子どもは考えたり交流したりしたことを基に、よりよい食習慣への取組に向かつていく。

### 3 特別活動で働かせる「見方・考え方」

	人間関係形成	社会参画	自己実現	食育
見方・考え方	集団や社会の形成者としての見方・考え方			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分と他者との考えや立場の違いに着目すること</li> <li>○他者の立場で類推して考えること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団の課題に着目し、目標と方法とを関係付けること</li> <li>○所属する集団・社会や自己の目標と実態とを関係付けて考えること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の在り方や生き方に着目すること</li> <li>○自己について、現在と将来とを関係付けて考えること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の生活と関係付けて考えること</li> </ul>

### 4 特別活動で育成する資質・能力

	人間関係形成	社会参画	自己実現	食育
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動をする上で必要となることに関する知識や技能</li> <li>・集団で活動する上での様々な困難を乗り越えるための知識や技能</li> <li>・集団と個の関係についての理解</li> <li>・集団活動の価値の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナーについての知識や技能</li> <li>・集団や人間関係をよりよく構築していくための知識や技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在及び将来の自己の課題との関連における学習の意義の理解</li> <li>・現在及び将来の自己の課題解決に向け、意志決定して行動することとその意義の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全な食生活に関する知識</li> <li>・食事のマナーに関する知識</li> <li>・食文化に関する知識</li> </ul>
② 思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意志決定したりする力</li> <li>・意見の違いを認めて合意形成を図る力</li> <li>・自分にとっても他者にとってもよりよい方法を考え出す力</li> <li>・自分や他者のよさを認め合いながら、協力して行動する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の問題に気付く力</li> <li>・他者と目的を共有し、課題を解決する力</li> <li>・話し合って決めたことに取り組む力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の置かれている状況を理解して、意思決定する力</li> <li>・集めた情報や自己を客観視したことを基に自己の生き方を選択・形成する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品に含まれている栄養素や働きを考え、適切な判断をする力</li> <li>・自分たちと他地域の食文化を比較して、共通点と相違点に気付く力</li> <li>・日本と外国の食文化を比較して、共通点と相違点に気付く力</li> </ul>
③ 態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての理解を深め、自己実現を図ろうとする態度</li> <li>・多様な他者と助け合ったり協力し合ったりしてよりよい人間関係を築こうとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な他者と協働して、集団や生活上の諸問題を解決し、よりよい生活をつくろうとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の生活や自己の在り方を主体的に改善しようとする態度</li> <li>・自分にふさわしい生き方や職業を主体的に考え、選択しようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全な食生活を実現しようとする態度</li> <li>・食事のマナーを考え、会話をしながら気持ちよく会食をしようとする態度</li> <li>・各地域、各国の文化を尊重しようとする態度</li> <li>・食物を大事にしようとする態度</li> <li>・食物の生産等にかかわる人々への感謝の気持ちを表す態度</li> </ul>